

# 令和4年度学校図書館実践報告

新潟市立新通つばさ小学校

## 1. 図書館小中連携について

坂井輪中学校・坂井東小学校・新通小学校・新通つばさ小学校の4校は、「スクラム坂井輪」という名称で小中連携の取組を継続的に行っている。今年度図書館部(司書)を開設し、図書館小中連携事業について話し合いや情報交換を行った。

### 前年度までの活動

- ・年間200冊以上借りた6年生の児童に、坂井輪中学校図書館で使える「プラス2冊貸出年間パスポート」をプレゼントしてきた。(平成26年度から)
- ・小中4校の「年間図書館活用実績一覧」を共有ドライブに提出し、情報共有してきた。(令和2年度から)

### 今年度取り組んだこと

#### ○「読書センター」として

- ・年間200冊以上借りた6年生の児童に、坂井輪中学校図書館で使える「プラス2冊貸出年間パスポート」をプレゼントする。6年生の最初のオリエンテーションで話をしていく。毎年、200冊以上借りること目指し、本を読む児童がいる。
- ・校内読書旬間中に各校2枚(合計8枚)「本の紹介ポスター」を掲示し、各校で回覧する。立ち止まってポスターを読んでいる児童・先生がいた。とてもよい試みだった。

#### ○「学習センター」として

- ・6年生時のオリエンテーションでは、4校共通の事柄を児童に伝え、中学校につなげる。

#### ①分類の確認：日本十進分類表を見せ確認する。

⇒マニュアルをA3サイズにしたものをラミネートして各テーブルに置く。

#### ②百科事典について：ポプラディアの紹介(つめ・柱・見出し語についての案内を掲示する。)

⇒使い方の説明をポプラディア近くの本棚に貼っておく。

#### ③著作権について：クイズを使って興味を持ってもらう。

⇒全5問、新通小学校が毎年利用しているものを、小学校3校共通で行う。

#### ④引用や出典について

⇒「自分の意見」と「資料を使って引用・出典した部分」を区別することや、参考にした情報源について記録することを伝える。調べたい事柄に応じて、資料を使うか、インターネットなどを利用するか使い分けが必要だということも考えさせる。

#### ⑤公共図書館の紹介 坂井輪図書館・内野図書館について知らせる。

①～⑤を、中学校のオリエンテーションでも確認をする。

○「情報センター」として

- ・図書委員会の児童が、カウンター当番をしている時に（新潟日報・毎日小学生新聞）で気になる記事を切り取り、図書室入口に掲示する。
- 更新するタイミングや見せ方の工夫が課題となっている。

## 2, 新通つばさ小学校での具体的な取組について

### 読書センターとして

- (1) 年度始めに各学年の年間目標貸出冊数と物語9類の本と1～8類の本の借りる冊数ルールを確認する。

☆感染症対策のため1回に借りる冊数を増やしている。休み時間利用は各学年週1回のみとしている。

☆長期休み前は、全学年5冊貸出としている。

- |     |          |       |          |           |
|-----|----------|-------|----------|-----------|
| 1年生 | 年間100冊以上 | 3冊2週間 | 絵本のみ貸し出し | お話の本は2冊以上 |
| 2年生 | 年間120冊以上 | 3冊2週間 | 9類・お話の本  | 2冊以上      |
| 3年生 | 年間100冊以上 | 3冊2週間 | 9類・お話の本  | 2冊以上      |
| 4年生 | 年間100冊以上 | 4冊2週間 | 9類・お話の本  | 2冊以上      |
| 5年生 | 年間80冊以上  | 4冊2週間 | 9類・お話の本  | 2冊以上      |
| 6年生 | 年間80冊以上  | 4冊2週間 | 9類・お話の本  | 2冊以上      |

※6年生については年間200冊達成したら坂井輪中学校図書館年間パスポートをプレゼント。

- (2) 50冊ごとにカードにシールと（プラス1冊券）を渡す。6年間使うカードには、各学年の最終貸出後に何冊借りたかを記録している。

- (3) 希望クラスに読み聞かせを行う。

（今年度：1年生2クラス・2年生3クラス・4年生1クラス）

- (4) 図書館環境を整備する。

図書館司書や図書委員が季節や行事に合わせて、展示物の貼り替えや本の展示を行っている。

- (5) 校内秋の読書旬間を実施する。

令和4年11月21日（月）～12月2日（金）

内容

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ・全校朝読書           | ・絵本とお話の時間（※1）     |
| ・図書委員会のイベント（※2）  | ・給食室とのコラボメニュー（※3） |
| ・司書によるブックトーク（※4） |                   |

#### (※1) 絵本とお話の時間

読み聞かせボランティアグループ『絵本を楽しむ会』による「絵本とお話の時間」は、新通小学校の時から毎年読書旬間中に行われていた。しかし、感染症の影響で中止が続いていた。今年度、開校後初めて新通つばさ小学校でも行うことができた。感染症対策のため時間短縮など形式は変わったが、全クラスで実施することができた。

ボランティアの方から、紹介される本の情報を事前に教えてもらい、学校にない本は公共図書館から借りて図書室入口に展示をした。手に取ったり借りたりする児童がいた。

## (※2) 図書委員会のイベント

### ①放送によるクイズイベント

本に興味をもってもらうことをねらいとし、上学年向け・下学年向けの本を選んで、本の内容に関するクイズを給食時間に放送した。

### ②放送による本紹介

①と同じく本に興味をもってもらうことをねらいとし、本の紹介動画を給食時間に放送した。「ジャパネットつばさ」と称し、楽しく見てもらえるよう児童自身で台本を作り、動画を作成した。非常に好評で、紹介された本を探しに図書室を訪れる児童も多くいた。

### ③図書室の雰囲気作り

期間中、休み時間に音楽を流し、落ち着いた雰囲気でも過ごせるようにした。音楽を意識してか、普段よりも声を落として図書室を利用している児童が多かった。

## (※3) 給食室とのコラボメニュー

・校内読書旬間にかかわって、給食に、絵本に出てくる料理やお菓子を出した。

### ①「おいものカレー」

(『いもジェンヌちゃんとふしぎなおしろ』あだちあさみ 作 いもジェンヌ農商工連携協議会 より)

### ②「てづくりチョコのカップケーキ」

(『ぐりとぐりのおきゃくさま』中川李枝子 作 福音館書店 より)

・当日のお昼の放送では、司書がメニューの出てくる本の読み聞かせを行った。

⇒給食に絵本に出てくる料理やお菓子を出し、その後読み聞かせをすることで、子どもたちは、本にも興味をもつことができた。

## (※4) 司書によるブックトーク

・希望するクラスに行った。

・『メアリー・スミス』(アンドレア・ユーレン光村教育図)を全学年に読み聞かせをした。それに加え、学年に応じて、以下の本を紹介した。

低学年：『すずめのくつした』(ジョージ・セルデン大日本図書)

『びっくりしゃっくり』(寺村輝夫理論社)

中学年：『はれときごきぶた』(矢玉四郎岩崎書店)

『ぼくはアフリカにすむキリンといます』(岩佐めぐみ偕成社)

高学年：『グスコーブドリの伝記』(宮沢賢治くもん出版)

『シノダ! 樹のことばと石の封印』(富安陽子偕成社)

## 学習センターとして

・年度始めのオリエンテーションでは、学年ごとに国語の教科書で紹介されている分類・索引・引用などについて説明した。他にも、図書館使用時に気を付けることなどを伝えた。

・各学年の授業実践として、年間活用実践一覧にあるように図書を活用した授業を行った。

## 情報センターとして

- ・児童玄関のホールに「毎日小学生新聞」と「新潟日報」の新聞コーナーを設置している。
- ・図書室入口には図書委員が気になる新聞記事を切り取り、掲示している。
- ・職員室に本の展示コーナーを設置し、教職員への啓発を行っている。

### 3. 年間活用実績一覧にかかわって

国語の教科書や各学年の年間指導計画、週予定などをチェックし、図書室の利用を増やしてもらおうと声掛けをしたり、図書の時間に学級担任とカウンター作業をしながら情報を集めたりした。読み聞かせを希望している学年には、学習に関連する本の紹介や読み聞かせも行った。

- 1年生「くじらぐも」中川李枝子 作 同じ作者の他の作品を読む並行読書  
国語「くじらぐも」を学習しているときに中学生の職場体験があり、読み聞かせの時に『ぐりとぐら』を選んだ。その後、担任の話から（中川李枝子作品）を集め学年に貸し出すことになった。
- 2年生 「がまくんとかえるくん」シリーズ アーノルド・ローベル作  
国語「お手紙」を学習している時期に、お話『こわくないやい』を読み聞かせし、シリーズ本の紹介展示を行った。本を借りていく児童の姿が多く見られた。また3年生以上の児童も「なつかしいな。」と手に取っていた。
- 5年生・3年生  
国語「たずねびと」を学習している時期に、5年生に平和の本として戦争について書かれた本を貸し出した。その後、3年生の国語「ちいちゃんのかげおくり」の学習の時期に、5年生に貸し出していた本の中から、内容の難しいものを外し、3年生に貸し出しを行った。
- 4年生  
国語「ごんぎつね」を学習している時期に（新美南吉）作品『木の祭り』の読み聞かせをし、他の作品も展示した。
- 6年生「日本文化を発信しよう」で日本文化についての本を貸し出した。  
また、学年行事で落語家の方のお話を聞いたという話を聞き、『じゅげむ』と『てんしき』の絵本を図書室に展示した。

### 4. 各学年における図書館資料の活用の実績（5～8ページ）

#### 成果

- 司書が単元にかかわる多くの本を集め、各学年に貸し出した。（数：クラスの児童が一斉に調べられる程度の数。内容：絵や写真が多く載っていて、子どもが読んで分かりやすいものが多かった。）これにより、子どもたちは意欲的に調べ学習に取り組むことができた。
- 担任が、本をコピーして手本として渡したり、児童に見てほしいポイントに付箋を貼ったりすることによって、子どもが情報を活用したり見つけたりすることが簡単になった。

#### 課題

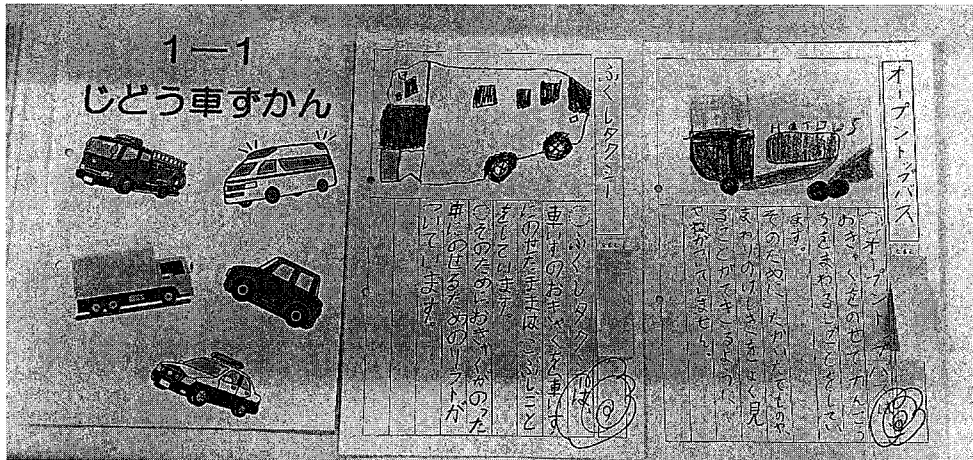
- 国語での貸出が多かった。他の教科でも、本を活用することのできる場面がないか、考えていきたい。

学年	1	教科	国語	指導時期	11月中旬
----	---	----	----	------	-------

単元名	じどう車ずかんをつくらう				
-----	--------------	--	--	--	--



どのように図書室資料を活用したか

- ・教科書「じどう車くらべ」の学習後、子どもたちが好きな自動車の本を選び、図鑑をつくる活動を行った。
- ・図鑑づくりに活用できそうなページの写真を撮り、子どもたちに選ばせた。
- ・子どもは写真を見て、教科書と同じように自動車のつくりとしごとを読み取り、図鑑を作成した。



成果 (○) と課題 (●)

- 本をたくさん集めていただいたので、いろいろな自動車に興味をもって楽しく学習に取り組むことができた。
- 選んだ写真を渡したことで、教科書と同じようにつくりとしごとに分けて、ラインを引きながら読み取ることができた。

学年	2年	教科	生活	指導時期	6月
単元名	生きものなかよし大作せん				
どのように図書室資料を活用したか					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きもののヒミツ新聞を作ろう」というめあてを設定して、活動を行った。</li> <li>・生活班（4人1グループ）を組み、どんな生きものの新聞を作るのか相談し合った。そして、生きものの図鑑や昆虫図鑑などの本を図書館司書に集めてもらった。休み時間や読書の時間などにも本を見るように声掛けをした。</li> <li>・その中で、グループで1つ生きものを決めて、食べ物や住んでいる場所、飼い方などを調べていた。</li> <li>・最後には1枚の紙にまとめて、発表をした。</li> </ul>					
					
成果(○)と課題(●)					
<p>○生きものについて調べていくと、知らないことがいろいろと分かり、子どもたちは楽しそうに活動をしていた。</p> <p>○文字ばかりでなく、写真などがたくさんあって、興味をもって取り組んでいた。</p> <p>○難しい漢字もふりがながふってあり、助かった。</p> <p>●言葉の言い回しなどが難しく、意味が分かっていないまま新聞にまとめている子どもが多かった。</p> <p>●タブレットで調べる活動を入れると、ほとんどの子どもがタブレットに夢中になり、本を見ることも少なくなってしまった。</p>					

学年	3年	教科	国語	指導時期	11月
単元名	食べ物のひみつを教えます				
どのように図書室資料を活用したか					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で大豆をおいしく食べる工夫がされていることを学習した。子どもたちは興味をもって学習し、「他の食品はどうか」など、他の食品についても考えるようになった。そのタイミングで本単元「食べ物のひみつを教えます」を学習し、食べ物に関する本を活用した。</li> <li>・子どもたちは本で調べる方法を選択し、複数ある本の中から、いくつかを読んだ後、一つ食品を決め、調べた。</li> <li>・モデル文を参考にしながら、自分が調べた食品について説明する文章を書いた。</li> </ul>					
成果(○)と課題(●)					
<p>○図書室からは、42冊本を借りたので、1クラスの子どもたちが一度に見るのに十分な数が揃っていた。</p> <p>○種類もたくさんあったので、子どもたちも興味をもって読むことができていた。</p> <p>○カラフルな紙面や挿し絵が多く、子どもたちも読むことを楽しみながら情報を集めることができた。</p>					

学年	4年	教科	国語	指導時期	11月
----	----	----	----	------	-----

単元名	世界にほこる和紙
-----	----------

どのように図書室資料を活用したか

- ・単元のめあてとして、「『伝統工芸品の良さや魅力』を伝えるためのリーフレットを作成すること」を設定した。
- ・パンフレットを作るために、自分の紹介したい伝統工芸品について1つ選ぶこととした。そこで、様々な伝統工芸品について載っている本を図書館司書に集めてもらった。子どもたちは本を読みながら自分の興味がある伝統工芸品を一生懸命選んでいた。
- ・単元の最後には、モデル文を参考にしながらリーフレットを作成した。見つけた伝統工芸の良さや魅力を整理し、iPadを活用してリーフレットを作成した。



成果(○)と課題(●)

- 図書室からは、40冊ほど本を借りたので、1クラスの子どもたちが一度に見るのに十分な数が揃っていた。
- たくさんの種類の「伝統工芸品」についての本があったので、子どもたちも興味をもって読むことができていた。
- 本を読んでも、どこが伝統工芸品の良さや魅力なのか探ることが難しい児童が見られた。そういうときには、児童が見付けやすいように本に付箋を貼って、見付けやすいように工夫した。

学年	5年	教科	総合	指導時期	10月
単元名	大好きにいがた体験 わたしたちの食～米～				
どのように図書室資料を活用したか					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えや稲刈り前に米の育て方について調べ、米づくりの流れを理解したり疑問をもったりした上で活動に望んだ。</li> <li>・米に関する資料を使い、米の育て方、米の種類、加工品など自分の興味のあることについて調べレポートにまとめた。</li> </ul>					
成果(○)と課題(●)					
<p>○1クラスの児童全員が一度に見るのに十分な冊数を用意していただいた。</p> <p>○子ども向けなので、多くの児童にとって理解できる内容だった。</p> <p>●インターネットで調べ活動をしている児童の中には、出典のあいまいな情報を集めている児童もいた。また、本を使う児童も、参考資料を記録していない児童がいた。また、自分の考えなのか引用した事柄なのかはつきり書き表せていない児童も多い。資料の使い方について今後も繰り返し指導が必要だ。</p>					

学年	6年	教科	国語	指導時期	11月
単元名	伝えよう！日本のよさ				
どのように図書室資料を活用したか					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあてとして、「5年生に『日本文化』を伝えるためのパンフレットを作ること」を設定した。</li> <li>・パンフレットを作るために、自分の紹介したい日本文化について1つ選ぶこととした。そこで、日本文化について載っている本を図書館司書に集めてもらった。国語の時間以外にも、読書の時間、休み時間に自由に本を見られるようにした。子どもたちは、「パンフレットを作る」という目的をもちながら本を読んでいた。インターネットで調べるのではなく、本を読んで「なるほど」、「紹介したい」と思ったものを選ぶように声掛けをした。</li> <li>・単元の最後には、モデル文を参考にしながらパンフレットを作成した。自分の選んだ「日本文化」について調べる時に、本を活用した。子どもたちは、そこから分かったことをロイロノートやメモにまとめながら、パンフレットに書くための情報を集めた。</li> </ul>					
成果(○)と課題(●)					
<p>○図書室からは、50冊ほど本を借りたので、1クラスの子どもたちが一度に見るのに十分な数が揃っていた。</p> <p>○数多くの種類の「日本文化」についての本があったので、子どもたちも興味をもって読むことができていた。</p> <p>○カラフルな紙面や挿し絵が多く、子どもたちも読むことを楽しみながらパンフレットにするための情報を集めることができた。</p> <p>●単元の終末に、本だけでなく、インターネットでも調べてよいことを伝えると、本を見る児童の数が減ってしまった。本で調べることのよさをもっと伝える必要があった。</p>					